

2017年第2回千葉大学化学教育研究懇談会

2017年第2回化学教育研究懇談会を下記の要領で開催いたします。新進気鋭の下記の先生方に最新の研究成果を紹介していただきますので、ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日時：2017年11月27日(月) 17:00～18:30

場所：千葉大学西千葉キャンパス・ベンチャービジネスラボラトリ・三階会議室
(次ページの地図を参照)

<プログラム>

1. 17:05～17:45 坂根 郁夫 教授 (千葉大学大学院理学研究院)

「生体膜脂質代謝酵素ジアシルグリセロールキナーゼの基質多様性と生理機能」
ジアシルグリセロール (DG) キナーゼ (DGK) は DG をリン酸化してホスファチジン酸に変換する酵素で、10種のアイソザイムが存在する。今回の講演では、DGK アイソザイムの基質多様性等の生化学的性質についてと共に、DGK アイソザイムの生理機能や病態(難治性がん, 生活習慣病, 免疫系疾患, 脳神経疾患等)との関連, 更に創薬の可能性について解説します。

2. 17:45～18:25 原 孝佳 准教授 (千葉大学大学院工学研究院)

「環境にやさしい物質変換を可能とする高機能固体触媒の開発 ～無機アニオン交換体の特性を駆使した触媒設計～」

アニオン交換能を有する層状無機水酸化物は、古くから環境浄化や機能材料のホスト、触媒材料として広く研究されています。本研究では、層状複塩基性塩や層状希土類水酸化物のような比較的新しい材料の特性に注目し、目的とする物質変換反応に応じた触媒活性種の導入(インターカレーション)や複数機能の集積など、高機能な固体触媒を設計・開発した例を紹介します。

※ 講演時間には質疑応答も含む

参加申込締切日：2017年11月20日(月)

参加申し込み方法：

以下の情報を市原佳子まで E-mail(ichihara@chiba-u.jp)にてお送り下さい。

- ・お名前・学校名
- ・交通費支給希望の有無

担当者：

千葉大学大学院工学研究院共生応用化学コース
日本化学会関東支部幹事

藤浪 真紀

E-mail: fujinami@faculty.chiba-u.jp

TEL&FAX: 043-290-3503

以上

交通アクセス

JR 総武線 西千葉駅下車 3 分 もしくは 京成線 みどり台駅下車 10 分

